

2020年度 自己点検・自己評価報告書

公益社団法人北部地区医師会北部看護学校

本校は、北部看護学校の特色ある看護教育の充実と教育の水準の向上を目指し、2019年度より文部科学省のガイドラインに沿って自己点検・自己評価を実施しています。

今年度2回目の学校評価を実施しましたので報告いたします。

教育理念

人間尊重を基本とし、時代の変化に対応できる幅広い能力をそなえ、看護の発展に貢献できる有能な人材の育成をめざす。

教育目的

豊かな人間性を基盤とし、看護に必要な知識、技術、態度を習得し、社会に貢献し得る看護師を育成する。

教育目標

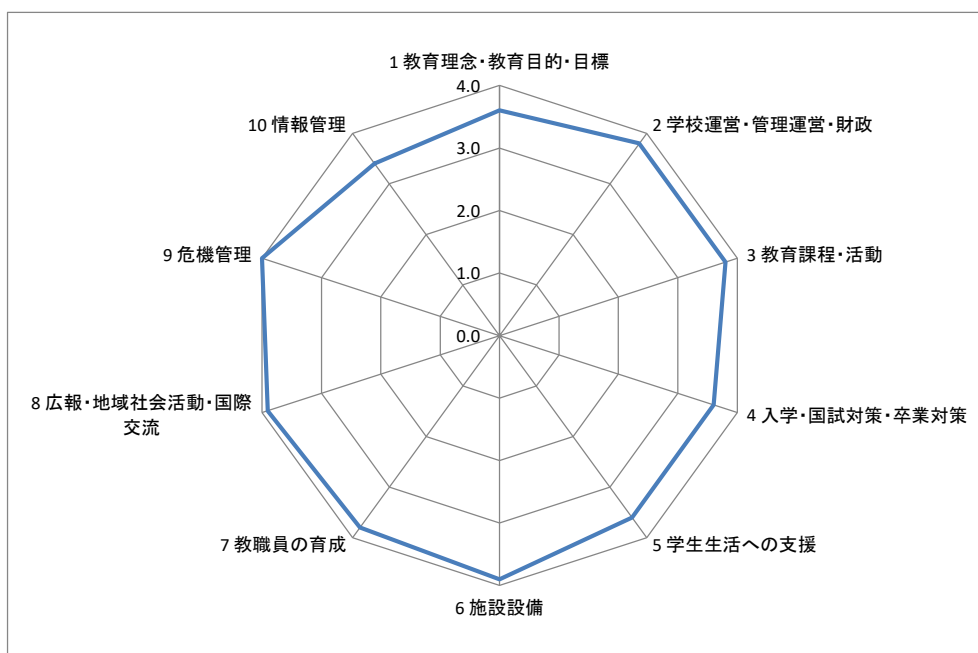
- 1) 生命を尊重する倫理観を備え、対象を幅広く理解する能力を身につける。
- 2) 対象の健康問題を捉え、科学的根拠に基づいた看護実践ができる能力を身につける。
- 3) 保健医療福祉チームの一員として、看護の役割を遂行する能力を身につける。
- 4) 社会の動向に関心を持ち、専門職業人として継続的に学習する姿勢を養う。

I. 2020年度重点目標達成についての自己評価

2020年度重点目標	達成状況
1. 本校の理念である「人間尊重を基本とし、時代の変化に対応できる幅広い能力をそなえ、看護の発展に貢献できる有能な人材の育成をめざす。」	1. 本校の期待する卒業生像が達成できるような行動がとれるように支援する。 ◆教育目標を達成するために学年目標を意識しながら、学年計画は実施できた。 教育理念・学年目標を意識しながら関わることができた。 卒業生像の達成度について、卒業直前にアンケートを実施した。結果、全ての項目について達成できた。
2. 学生の質の向上	1) 豊かな人間性を育む人材育成。 ①ボランティア活動、②地域の行事への参加、実習施設行事への参加促進。 ◆2020年度は新型コロナウイルス感染拡大のため、ボランティア活動は中止となった。 2) 学生の能力に応じた計画的な指導。 ①成績不良の学生に対する個別指導の強化。 ②自発的に調べる、考える、表現することができる授業方法。 ◆成績不良の学生に対して、個別に対応することができた。
3. 国家試験全員合格への支援 ◎合格100%を目指す	1) 各学年で計画した国家試験対策は予定通り実施した。 ①各学年の国家試験対策は後援会の支援で予定通り終了した。 ②成績不良の学生に対する個別指導の強化を1年次から実施できた。 ◆国家試験支援対策として、1年次から対策を行ってきたが、国家試験合格率は91.1%と低い結果となってしまった。 不合格者の分析を行い対策方法の課題が明確になった。 1年次から国家試験対策を実施しているが、個別指導に至らなかった。
4. 教員の質の向上	1) 新人専任教員の研修、実習指導教員の指導力向上。 2) 日本看護学校協議会をはじめ各種看護学会への参加。 3) 沖縄県看護教育協議会 専任教員再教育研修の参加。 4) 教員のモチベーションアップのための目標管理の実施及び評価。 5) 学生の主体的な学びを育むための教育方法の充実(共同学習)。 教務主任及び看護教員養成講習会未受講者の研修派遣をする。 キャリアラダーを活用した目標管理に基づく評価面接を実施する。 ◆個々の研修計画に基づき県内の研修会に参加することができた。 ◆専任教員キャリアラダーに基づき年2回の面談を実施し支援に繋がった。
5. カリキュラムの質向上	1) 現カリキュラム運営と評価 2) カリキュラム検討委員会の発足 3) 授業評価の継続 ◆新カリキュラム構築に向けて、現カリキュラム評価を教員全体で実施できた。 授業評価についても全科目評価を実施できた。また、1～3年次までの学生にカリキュラム評価アンケートを実施することができた。
6. 学生の臨地実習環境の整備	1) 効率的な実習指導体制づくりの強化(実習施設との連携・協力体制)。 2) リスクマネジメント指導及び守秘義務遵守および指導。 ◆実習施設と連携しアシスタントティーチング(TA)学生指導を行うことができた。

2020年度重点目標	達成状況
7. 入学生の確保	1) 高等学校のキャリア教育への協力(看護の仕事出前授業、施設見学等)。 2) 学校案内、ホームページの充実、ホームカミングの実施。 ◆業者主催の進路ガイダンスや高等学校のキャリア支援教育に向けて教職員で取り組んだ。 2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止になることもあったが積極的に取り組むことができた。
8. 地域に開かれた魅力ある学校づくりの推進	1) 学校情報、学校評価、学校関係者評価、財務諸表等のホームページ公開 ◆自己点検・自己評価、学校関係者評価、教育課程委員会を実施した。客観的評価を受けて学校運営の改善に活かすことができた。学校情報をホームページに公開することができた。
9. 学校運営の安定化	1) 休学者・退学者の低減 2) 予算執行の遵守 ◆2020年度は休学者4名、退学者5名となった。退学理由は進路変更が主だった。 看護師になりたい動機が弱く、今後は面接方法等の工夫が必要。

令和2年度 基準毎の比較



II. 学校評価の結果

評価基準は、基準1～10までの大項目、37中項目、262小項目の評価指標について自己評価を行った後、学校関係者評価を実施し最終評価としました。

評価基準：4段階評価(4：適切 3：やや適切 2：やや不適切 1：不適切)

表1

大項目	平均点	課題
基準1 教育理念	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ・学校に期待するニーズを把握し社会の求める人材の育成を目指す。 ・ホームページでは、日々の教育活動が分かり易く、情報発信できるようにコンテンツの充実を図っていく。 ・全職員が広報活動できる意識づくりを念頭にいた人材育成を図っていく。
基準2 学校運営	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・情報管理システムの構築を図るように整備を進めている。 ・組織の活性化に向け業務改善プロジェクトを立ち上げ整備に取り組む。
基準3 教育活動	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・全科目授業評価を実施しているが、全体での共有ができていないため、全体で共有し学生の学びに繋げていく。 ・在校生のキャリアアップの動機づけとして、卒業生の認定看護師等に特別講演依頼を検討している。
基準4 学修成果	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ・進学希望の学生と卒業生との情報交換会の機会を計画する。 ・卒業生の動態把握のため、就職先訪問や就職先へアンケート調査を行う。 ・卒業生が自分の活動報告ができる環境を整える。(hp等)
基準5 学生支援	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ・卒後の支援体制、卒後教育等について病学連携病院とのプログラム開発に取り組む。 ・放送大学とのダブルスクールの継続学習支援を検討。
基準6 教育環境	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ・平時の時、実習で教員の少ない時間帯の対応、実習先での対応の見直し。
基準7 学生の受入れと募集	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・学校推薦枠の人数・入学選考の見直し。 ・全職員が職業教育「看護のしごと」について交代制で講義を担当できるように検討する。
基準8 財務	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ・休学、退学者の低減を図る必要がある。
基準9 法令等の遵守	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・「ハラスメント防止ガイドライン」の研修会を企画する。
基準10 社会貢献・地域貢献	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・社会・地域貢献に関して概ね達成できているが、学生同士のボランティア活動の体験を話す機会を検討する。